会　　議　　録

会議の名称	第13回南方地域開校準備委員会	
開催日時	令和８年10月27日（火）	
	午後７時00分　開会	
	午後８時15分　閉会	
開催場所	南方総合支所　２階　大会議室	
委員出席者	永　浦　清太郎　　委員	南方小学校ＰＴＡ
	鈴　木　修　仁　　委員	西郷小学校ＰＴＡ
	亀　井　　希　　委員	東郷小学校ＰＴＡ
	佐々木　佑　貴　　副委員長	南方中学校ＰＴＡ
	髙　橋　俊　朗　　委員	南方小学校学校運営協議会
	熊　谷　　一　　委員	西郷小学校学校運営協議会
	鹿　野　幸　子　　委員	東郷小学校学校運営協議会
	佐　藤　直　也　　委員	南方中学校学校運営協議会
	山　田　俊　道　　委員長	南方地域行政区長会
	小野寺　　綾　　委員	南方幼稚園ＰＴＡ
	佐　藤　　華　　委員	南方認定こども園父母の会
	鈴　木　久　美　　委員	南方小学校校長
	髙　橋　裕　之　　委員	西郷小学校校長
	熊　谷　るみ子　　委員	東郷小学校校長
	千　葉　和　幸　　委員	南方中学校校長
事務局出席者	安　部　保　男	学校再編推進室長
	伊　東　　智	学校再編推進室主幹兼学校再編推進係長
	西　條　貴　伸	学校再編推進室主査
	千　葉　洸　大	学校再編推進室主事
傍聴者	なし	
議事	(1)　（仮称）南方小学校の校章の補作について (2)　（仮称）南方小学校の校歌の歌詞について	

		開会　午後７時00分
	事務局	第13回南方地域開校準備委員会を開会する。 （委員長あいさつ）
	事務局	登米市開校準備委員会設置要綱第８条の規定により、議長は山田委員長にお願いする。
議事１	委員長	それでは議事に入る。議事１「（仮称）南方小学校の校章の補作について」事務局に説明を求める。
	事務局	議事１「（仮称）南方小学校の校章の補作について」 （資料１に基づき説明）
	委員長	事務局の説明について、質問や意見はあるか。
	委員	検討する項目としては３つだと思う。南方小学校の校章を示す「小」

		の部分の先端を３パターンのうちどれにするのか、中央の「南」のフォントをどちらにするのか、資料１〈発展版〉にある 10～12 のように五角形に切れ込みを入れるのか。これらを一つ一つ決めていってから、桜の塗りつぶしや縁取りを決めていけばよいと思う。
	委員長	では、外枠となる「小」の部分から。何かご意見はないか。
	委員	今回補作いただいた案を見ると、東郷小学校の校章を表す羽が、原案よりも外側に広がっていて、丸くなっている。原案は、３小学校の校章が１つに組み合わされているデザインなので、あまり手を入れてしまうと、原案の意図が変わってしまうのではないか。
	委員	「前回の会議で出た、「小」の隙間の部分が鳥の足に見えるという意見を踏まえ、五角形の形を下に向けて広げた」という事務局説明があったが、ここはあくまで「小」という字をイメージしているものであり、原案の意図から外れてしまっているのでは。実際の南方小学校の校章を見ると、五角形は広がっていない。「小」の先端部分も尖ってはいない。
	委員	となると、〈発展版〉の 10～12 は選択肢から除外すべきである。南方小学校の校章の「小」を表しているものが、東郷小学校の校章に近づいてしまっている。３小学校の校章を組み合わせたという意図があるのなら、南方小学校の要素が薄れてしまうのは問題である。今回の補作を行う前の方がすっきりしていると感じる。羽の中の線を４本から３本にするだけでもよいのでは。
	委員	「小」の左右に延びる外枠が、実際の校章や原案だと、全体的にもう少し細くなっていて、下から上に向かって細くなっているように感じる。
	副委員長	前回の補作から修正された点として、羽の中の線が４本から３本になっている。ここの部分については、今回の補作案でよろしいか。
	委員	そこの部分はよいが、原案と比べて羽が外側に広がってしまっている。デザイン自体が変わってしまっている。
	副委員長	原案を見ると、羽の輪郭はやや斜めになっていると感じる。はみ出し部分を少し短くした方が、原案に近くなるのでは。 また、五角形についてのご意見としては、前回の会議で出たご意見を踏まえ、下に向かって斜めに広がる形に修正いただいたが、原案に近い、下に真っすぐおろす方がよいというところである。 さらに、「小」の左右に延びる外枠の部分が少し太くなっていることで、バランスが取れなくなっているのだと思う。 まず、〈発展版〉の 10～12 のデザインについては、原案の意図から外れることから、選択肢から除外するということでよろしいか。 （異議なし） では、10～12 のデザインは選択肢から除外する。五角形の線を真っす

		ぐに戻すとともに、「小」の左右の部分を全体的に細くし、下から上に向かって細くなるようにするということでよろしいか。
	委員	実際の南方小学校の校章を見ると、左右の部分は、上と下で太さが変わっているわけではない。さらに、中央の五角形との隙間はとても狭くなっている。この部分を調整いただけるとよいのでは。
	副委員長	羽の部分についても、原案を見ると、外側の線がやや直線的になっている。今回の補作では、東郷小学校の校章に近づける形で、丸みを帯びた線になっているのだと思う。
	委員	原案では、羽がほとんど左右に飛び出していないことがわかる。「小」の左右に延びる外枠とほぼ同じくらいの位置である。
	委員	今回の補作案では、「小」の左右の先端がとがっているが、実際の校章や原案では四角くなっている。ここも翼の形に寄せてしまったのでは。
	副委員長	「小」の左右に広がる外枠部分を、原案のとおりに戻すと、桜との距離が近くなってしまうのではないか。ならば、桜をもう少し小さくしてもよいのでは。
	委員	桜の花びらの曲線と、「小」の左右に広がる外枠部分の先端がちょうど平行になるようにすればよいのでは。そして、その線を細くすれば、内側の桜との間に隙間ができて、各校の要素として際立つのでは。
	委員	原案では、桜の花びら同士のへこみが、下だけ少し深くなっていると感じる。このへこみと、五角形との隙間が極力小さくなるようにした方が、原案に近づくのでは。
	委員	五角形を、もう少し上に伸ばせばよいのでは。
	副委員長	まず、五角形については、斜めに修正いただいた部分を原案のとおり真っすぐに戻していただき、桜の花びらのへこみに少し食い込むような形で、上に伸ばしていただく。次に、羽が「小」の左右に広がる外枠部分から飛び出している部分について、もう少し短くしていただく。また、曲線になっている部分を、直線に修正していただく。さらに、「小」の左右に広がる外枠部分は、先端を原案通り四角くしていただく。これらを修正いただくということでよろしいか。
	委員	これらに加え、桜をもう少し小さくしたり、大きくしたりというところで、いくつかのパターンを作成できると思う。形が決定したあとで、字のフォントを決めるということでよいのでは。今の時点では、フォントまで決められないと思う。
	副委員長	今意見があったように、「南」のフォントについて今回踏み込むのは難しいため、まず形を修正いただき、桜の大きさを変えてパターンを作成いただくようにしたい。

	委員	羽について、少しだけでもよいので「小」の左右に広がる外枠からはみ出すようにしてほしい。全くはみ出さないと、帯のように見えてしまうのではないか。前回の補作のように、太線がはみ出す程度でも構わない。
	副委員長	この意見についてはどうか。
	委員	羽の下の部分を少し削れば、よいのでは。「小」の左右に広がる外枠部分と平行になるような直線にするのではなく、羽の下の部分を削って、外枠の中に入れるような形にすると、より羽に見えるのではと感じる。
	委員（南方中学校長）	では、出たご意見を踏まえ、私から補作を行う美術教諭に伝える。今回は事務局と直接やり取りをしたようだが、次はこちらで対応したい。
議事２	委員長	では、議事１については以上とする。次に、議事２「（仮称）南方小学校の校歌の歌詞について」事務局から説明を求める。
	事務局	議事２「（仮称）南方小学校の校歌の歌詞について」 （資料２に基づき説明）
	委員長	事務局の説明について、質問や意見はあるか。
	委員	子どもたちが歌いやすいように、やわらかい言葉に直していただけたと感じた。 しかし、１番の最後の部分が「学ぶところ」となっているため、もう少し学びにつながる言葉があればよいのかなと感じた。「人のやさしさつつまれて」というところは、おそらく大嶽の森や南方の地域の方々のことを意味しているのかなと思いつつも、学びにつながるような言葉があるとよいと感じた。 ２番では、「謙虚な心」という部分が、これからの時代に少しそぐわないと感じた。例えば、子どもたちや地域の方々の校歌に入れたい言葉の募集結果では、「明るい」や「正しい」、「素直」といった言葉が見られる。こういった言葉を入れることはできないのかと感じた。
	委員	私も、「謙虚な心」という部分が気になった。今の時代の考え方にあっていないのではと感じた。
	委員	言葉をやさしくしていただいたことは、私も感じた。しかし、例えば「松樹千年」という言葉は、やはり難しいのでは。「桜回廊」であれば、「きれいな桜」のような感じでもよいと思った。「謙虚な心」についても、どちらかといえば「明るい」のようにより前向きな言葉を入れたいと感じた。 １番でいえば、最後が「学ぶところ」なので、子どもたちの学びにつながるもの、２番は最後が「育むところ」なので、育みたいものって何かなというものを入れて、最後の言葉をもっと大事にすれば、それぞれ

		の意味が引き立つと思う。
	委員	中学生であればこれでもよいが、小学生にとってはやはり難しいのかなと感じた。「桜回廊」であれば、「千本桜」のような言葉でもよいのでは。漢字で見れば高学年はわかるかもしれないが、低学年は絶対わからないと思うので、なるべくわかりやすくした方がよいと思う。
	委員	わかりやすくした方がよいというのは、やはりそうだと思う。小学生が使ったことのない言葉は避けるべきである。
	委員	こうして文字の羅列として見れば難しいと感じるかもしれないが、音楽にのせてみれば感じ方が違うかもしれない。実際に歌うときは音楽があるのだから、音楽にのせてみないと歌いやすさはわからないと思う。
	委員	子どもたちは文字ではなく、メロディーで校歌を覚えるものだと思う。しかし、確かに難しい言葉もあると感じるので、「桜回廊」等の部分は直していただきたいと思う。
	委員	私も、修正案の方が前回より言葉が柔らかくなったと感じるが、難しい部分はもう少し直していただければと思う。
	事務局	たくさんのご意見を頂戴した。事務局としては、作詞者と何度か直接お会いし、お話を聞いている。作詞者の思いもありながら、皆さんからのご意見も踏まえ、言葉を柔らかくして、校歌に入れたい言葉の募集結果も入れていただいたことは確認済みである。しかし、「松樹千年　翠」や「薫風」というところは、作詞者の強い思いがあるとのことである。「松樹千年　翠」は、松の木が風雪等にも耐えて緑を保ち続けるというような意味の禅語である。今は難しいと感じるかもしれないが、大きくなってから意味を知り、振り返ってもらいたいとのこと。「薫風」も、初夏の爽やかな風という意味だが、南方の地に帰ってきた際に感じた爽やかな風を表したいとのこと。この２つの言葉には強い思いがあるということで、ご理解をいただきたい。仮に、どうしても修正をお願いしたいというのであれば、事務局としても、再度作詞者にお伝えをしたい。その他の意見についても、作詞者と調整したい。 また、作曲者からは、歌詞を見たうえで曲を作りたいとのことであるため、音楽にのせて歌詞を検討することは難しい。
	委員	校歌は童謡ではないのだから、多少言葉が難しくても仕方がないと感じる。大人になって言葉の意味を知り、校歌の意味を知るというのも大事なことである。
	委員	「松樹千年　翠」は、資料を見たときは難しいと感じたが、事務局の話を聞いて、作詞者の思いも大切だと感じた。また、「謙虚な心」については、私も気になった。学校の教育方針もある中、この表現でよいのだろうかと感じていた。「桜回廊」についても、先ほど意見が出たように、もう少し具体的な言葉にした方がよいのではと思ったので、作詞者に伝えていただければと思う。

	委員	新しい学校になるのだから、子どもたちが歌いやすいような歌になればよいなと思っていた。皆さんの意見を聞き、難しい言葉もあるが、作っていただいた先生の思いも大切だということで、なかなか難しいことだと感じた。このように歌詞をわかりやすくしていただいたのなら、作曲者には、明るい曲を作っていただきたい。真面目な歌詞であるため、曲は明るいイメージで作っていただきたいと思った。
	委員	個人的には、少しくらい難しくてもよいと思う。子どもたちが自分で調べて意味を知るという作業をすることで、校歌に愛着がわくということもあると思う。
	委員長	年代によって、考えが違うということもあるかと思う。出たご意見については、事務局から作詞者にお伝えをいただきたい。 他に意見等がなければ、議事２は以上とする。進行を事務局に戻す。
その他	事務局	「その他」について、委員から何かあるか。
	委員	再編校の開校まで２年半となった。夏休みに３小学校長で集まり、開校までのスケジュールについて話し合った。教育課程やカリキュラム、生徒指導の約束事の統一や体操着について、どのように決めていくのか、限られた時間の中で共通認識を図りながら進めていくための話し合いである。まだ確定ではないが、各専門部会の各校の代表が集まって話し合い、職員にも周知を行った。 特にやらなければならない事項として、令和９年度から行う交流事業である。回数を多く確保することはできないが、子どもたちが新しい友達とスムーズに学校生活を送れるよう実施していきたい。11 月に担当（教務主任）が集まり、交流の計画を立てていくこととしている。 また、体操着についても、業者に発注するとなると時間が必要になるため、どのように進めていくかというスケジュールの整理を進めているところである。 今後、決定事項があれば本会議でお伝えし、時にはみなさんのご意見を伺うこともあると思う。その際は、よろしくお願いしたい。
	事務局	他に意見等がなければ、事務局から連絡事項がある。 次回の会議は 12 月ごろの開催を予定している。委員長と日程調整の上、改めてご案内したい。 以上で、第 13 回南方地域開校準備委員会を閉会する。 閉会　午後８時 15 分